

令和6年度 企画管理部長「政策宣言」達成状況

企画管理部長 小塚 悟

○ 令和6年度重要事業

事業名	新たな総合戦略の策定及び人口ビジョンの見直し
目 標	地方創生と人口減少抑制を目指して策定した「第2期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が令和6年度に最終年を迎えることから、最新のデータに基づく「射水市人口ビジョン」の見直しを行った上で、令和7年度を初年度とする新たな総合戦略を策定します。
年 度 末 達 成 状 況	国立社会保障・人口問題研究所が示す人口移動状況等のデータや市民アンケートから算出した市民希望出生率を基に、2060年の目標人口を7万人に設定するとともに、目標人口達成に向けた取組を位置付ける「第3期射水市創生総合戦略」を策定しました。
自 己 評 価	若い世代の東京圏への転出等、本市の課題解決に向けた各種の施策を総合戦略に位置付けました。人口動態の改善、地方創生の実現に向け、総合戦略を着実に推進します。

事業名	行財政改革の推進
目 標	市役所内業務のデジタル化に併せ、業務改革につなげるための業務プロセス調査を実施するほか、第5次行財政改革集中改革プランに掲げた取組の進行管理を徹底し、着実に行財政改革を進めます。
年 度 末 達 成 状 況	業務プロセス調査の実施により、各業務の現状分析や業務プロセスの可視化を行いました。 第5次行財政改革集中改革プランについては、令和6年度改訂版として、緊急的な事態に対応すべき課題を含め、数値目標や取組スケジュール等の時点修正を行いました。令和6年度改訂版の進行管理を徹底し、個別の取組を進めています。
自 己 評 価	全庁的な業務プロセス調査により、現状の業務プロセスを詳細に把握し、業務改革に向けた基礎資料を整理しました。今後は、この結果をもとに効果的な改善策を立案し、実行していきます。 また、集中改革プランについては、第5次大綱の基本理念である「社会変化に柔軟に対応する行財政運営」を実現すべく、引き続き、行財政改革を着実に推進します。

事業名	人材の確保
目標	令和6年2月策定の新たな定員適正化計画に基づき、適正な事務・事業の執行に必要な人材はもとより、市民生活を支える各種事業の充実に必要な専門職・技術職をはじめ、懸案事項や新たな政策課題の解決に必要な人材の確保に努めます。
年度末達成状況	今年度実施の職員採用試験では、全ての試験区分で採用予定者数を確保できました。また、必要な技術職員数の確保に向けて、今年度新たに技術職（土木・建築）向けのインターンシップを実施したほか、技術職現場見学会では近県の高等教育機関に直接案内したことにより、例年よりも多くの方に技術職員の仕事を知っていただくことができました。
自己評価	技術職員の確保に向けては、今後、富山大学や富山県立大学の学生に向けてPRする機会を設ける予定であり、採用者の確保につなげていきます。 引き続き、定員適正化計画に基づいて定員の適正化に努めます。